

# 2026年度(令和8年度) 看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

|                  | 分担項目                     | 具体的な取り組み  |                          |
|------------------|--------------------------|---|--------------------------|
| 業<br>務<br>分<br>担 | 画像検査課                    | ・ポータブル撮影、エコー、CT検査時の移送   |                          |
|                  | 薬剤師                      | ・薬剤関連の業務介入<br>・定期、臨時薬の払い出しとセット<br>・持参薬チェック  | ・救急カート、病棟配置薬の管理<br>・服薬指導 |
|                  | セラピストおよびリハビリ助手           | ・リハビリ訓練時の移乗、移動介助、食事介助   |                          |
|                  | 臨床検査技師                   | ・採血スピッツの準備と病棟への払い出し   |                          |
|                  | 栄養士                      | ・食事形態や濃厚流動食の種類、成分等の提案<br>・入院患者の食事摂取率・栄養評価、栄養指導(相談業務)  |                          |
|                  | 医療相談課                    | ・入退院調整、入院時の説明、手続き、必要書類の説明と同意書担当<br>・円滑な退院調整   |                          |
|                  | -                        | * 欠員がある時には、他部署からの支援を要請し援助する   |                          |
|                  | 看護補助者の配置により、看護職員の負担軽減を図る | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護補助者の配置により、看護職員の負担軽減を図る</li> <li>・求人工夫、適正配置に努め、人員の充足を図る</li> <li>・技能実習生3名、特定技能生2名の配置継続</li> <li>・夜間配置の継続 1病棟1名 2病棟2名</li> <li>・夜勤専従の導入による負担軽減</li> <li>・入浴介助の補助者(パートタイム)の活用、雇用継続</li> <li>・周辺業務に特化した補助者の活用 各病棟1名配置継続</li> <li>・事務的看護補助者の活用<br/>(事務的看護補助者として1名配置(2020年1月～)病棟内において書類、物品発注・納品、適宜書類整理、医療材料補充など実施)</li> </ul> |                          |
|                  | 短時間看護職員の活用               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育休明け復帰時、看護職員に対し短時間勤務説明と雇用継続</li> <li>・復帰に際しては円滑に業務出来るよう、休業前の部署への復帰とする</li> </ul>  |                          |
|                  | 多様な勤務形態の導入(ワークライフバランス)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な勤務時間シフトの導入、部門を超えた協力態勢(休日出勤・副業)</li> <li>・早出、遅出勤務の人員配置による繁忙時間帯の業務分担配慮</li> </ul>  |                          |
|                  | 妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の夜勤の減免制度、時短勤務制度の活用推進</li> <li>・育休制度(産後パパ育休)の活用</li> <li>・子の看護、親の介護休暇取得</li> </ul>   |                          |
|                  | 看護職員の勤務時間の把握等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各勤務帯、各部署の業務量の把握並びに調整、ITシステム導入の検討</li> <li>・夜勤専従看護師の増員(募集継続)</li> <li>・終業時刻での退勤を推奨する 業務分担調整・協力体制による時間外勤務の減少</li> <li>・夜勤連続回数2回まで、勤務後の休日確保</li> <li>・夜間外来(21時以降)対応、オンコール体制の継続</li> </ul>  |                          |
|                  | 年休取得及び時間年休取得の推奨          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5日以上計画的な年休取得(平均月1日取得できるシフト作成)</li> <li>・時間年休(年間24時間迄)、半日年休等の利用による勤務者への負担軽減とともに取得しやすい労働環境作りを行う</li> </ul>  |                          |